

第3章

活動を始める前に

1. 必要なものはそろっていますか？

今年初めてベルマークの担当になった方や、新しく参加された学校・団体の方にとって、わからないことが多いと思います。まずは、ベルマーク活動に必要な資料を確認しましょう。

毎年4月の中旬から下旬にかけて、ベルマーク参加学校・団体の「ベルマーク担当者様」宛てに、その年の新しい資料を一括して送っています。先生方の異動時期でもあるため、迷子になるケースもありますので、その時期に資料が届くことを学校側にひと声かけておきましょう。

新しく参加された学校・団体には、参加時点で一式を送ります。

資料の主な内容は、以下のとおりです。



①ベルマーク手帳（本書）

ベルマーク運動のすべてがわかる手引き書です。毎年4月に発行しています。

②ベルマーク一覧表

ベルマークをつけている協賛会社と、その商品の一覧です。表面に代表的な商品、裏面に各社の全対象商品名が載っています。各学校の生徒数分に若干プラスした枚数を届けます。毎年4月に発行します。

③お買い物のガイド

お買い物の手順や協力会社の主な取扱商品を掲載したカタログです。4月と10月の年2回発行します。

④ベルマーク整理袋

集計したベルマークをベルマーク財団へ送るための協賛会社ごとの袋です。

⑤送り状

整理袋に記入した各社のマーク枚数と点数を1枚にまとめて記入する用紙です。

⑥注文書

設備品を購入するときに財団に送る用紙です。3枚つづりになっています。

2. ホームページと新聞の活用を

ベルマーク財団のホームページ（以下HP）には1日平均で約1万人が訪れます。財団が発信する情報は、すべてこのHPに網羅されています。

ベルマーク運動について

最もよく読まれているのが、画面上部にあるメニューのうちの「**ベルマーク運動って？**」。運動の成り立ちや、具体的な進め方などが、イラスト入りで記してあります。

その中に、「**仕分け・集計の実例**」という項目があります。各学校の事例発表や、財団から取材に訪れた際に聞いた話などから、役に立ちそうな事例をいくつか集めて掲載しています。

ベルマークは、ベルマーク預金に変える以外にも、被災校やへき地校の役に立てるため財団に寄贈する、というやり方もあります。また、財団では現金寄付も受け付けています。詳しくは「**寄贈マークと寄付**」をお読みください。

実は、この手帳も1冊丸ごと収容してあります。「**ベルマーク手帳**」と進めば、画面上で全ページをスクロールしながら読むことができます。

送ったベルマークの確認

財団に送ったベルマークのその後は、トップページから確認することができます。

「**マーク受付状況**」からは、送り状と照合して受付が済んだ送付団体の1週間分のリストがご覧になれます。

「**ベルマーク検収**」は、いま作業しているマークの受付日を示しています。検収が済んだ点数はベルマーク預金に加算されます。

「**残高照会**」からは、いま使えるベルマーク預金の額を知ることができます。詳細は21ページをご覧ください。

The screenshot shows the official website of the Bellmark Foundation. At the top, there's a navigation bar with links for 'ホーム' (Home), 'お問い合わせ' (Contact), 'マーク受付状況' (Mark Submission Status), and language icons for Japanese, English, and Chinese. Below the header, there's a main banner with a group of children and the text 'リモート学習環境にて、子どもたちが楽しく学ぶ様子' (Children learning happily in a remote learning environment). The page is divided into several sections: 'おまかせ' (Handbooks) with links to 'Bellmark Handbook 2020' and 'Bellmark Handbook 2021'; 'おまかせ' (News) with links to news articles from March 2021; and a 'Bellmark News' section with a thumbnail of a newspaper clipping.

2021年2月

	日	月	火	水	木	金	土
第1週	1/31	2/1	2	3	4	5	6
第2週	7	8	9	10	11	12	13
第3週	14	15	16	17	18	19	20
第4週	21	22	23	24	25	26	27

ベルマーク検収

今週の作業日：3/8～3/12
12/18までの受付分を作業中



残高照会 お問い合わせ マーク受付状況

動画でベルマーク運動紹介

トップページには、写真・イラスト付きで記事へのリンクを掲載しているBOXがあります。その一番最初に常時置いてあるのが、**動画「未来を育むベルマーク」2021年度版**。ベルマーク運動の仕組みや財団の成り立ちなどを、わかりやすく紹介しており、説明会でも上映しているものです。時間は18分ほどです。

この動画を収録したDVDもあり、無料で貸し出しています。必要な方は下記まで。

TEL : ~~03-5148-7255~~ 03-5638-2320

toiawase@bellmark.or.jp

他校の事例を参考にするには

実際にベルマーク運動を展開している学校の話題などは、「**集めてます**」から読むことができます。大台を達成した学校への取材記事や、念願の品を購入した話、ボランティアとしてマークを集めた会社や個人がサポーターとしてマークを寄贈してくれた話などがたくさん詰まっています。

その中の「**PTAの発表**」は、ベルマーク説明会で実際に発表された全国の学校の事例集です。マークの集め方、数え方も様々で、運動を進める上でとても参考になります。また、それぞれの土地柄や学校の特色なども盛り込まれています。

お得な「ベル便りコン」

「集めてます」の中に「**ベルマーク便りコンクール**」があります。学校などで作るベルマークに関してのお便りを財団で審査し、優秀賞に3万円、佳作・特別賞に1万円を贈るコンクールです。受賞しなくとも、応募したすべての学校に参加賞として2000円の図書カードを進呈します。

2018年度以降は優秀賞の作品を掲載しています。また毎年、何校かを選んで取材に伺い、普段の活動ぶりなどをお聞きしています。



仕分け・集計の実例

集まつたベルマークを仕分け・集計するやり方は様々です。参加団体はそれぞれ独自の工夫を凝らして作業しています。ここでは、最近のPTAの発表やベルマーク新聞の取材などから、実例をいくつかご紹介します。

ベルマークポケットの活用

ベルマークを集めている際に、あらかじめ協賛会社ごとに分かれたポケットを用意して、そこに入れてもらうという仕組みです。仕分けの手間が省けるほか、子どもたちに興味を持ててもらえるという効果もあるようです。

山梨県の山梨市立つじ幼稚園では、他の園での取り組みを参考に、素敵なポケットを作りました。回収は毎年無理なく5000点以上を目標にベルマークを集め、置き先の選定などを取り入れています。

<2018年度ベルマーク運動説明会 5月29日(火)甲府>
<http://www.bellmark.or.jp/pta/30003014/>



優秀賞



子どもたちの笑顔を

「応援ありがとう」は、ベルマークで支援した学校の話題や、そうした学校から財団に寄せられたメッセージなどを集めたコーナーです。

一輪車を教わって喜ぶべき地の子どもたち、被災地からの援助への感謝の手紙……。ベルマーク運動のを目指す原点がここにあります。

「**協賛・協力会社**」は、協賛会社・協力会社、それぞれに関わる記事を集めてあります。ベルマーク付き商品はトップページからも探すことができます。ベルマークで買える品のカタログ「**お買い物のガイド**」も全ページ読むことができます。

キャラクター・申込書類

ベルマーくんなどのキャラクター、ベルマーク一覧表、ポスターなどのデータが「**ダウンロード**」に置いてあります。ご自由にお使いください。回収箱の展開図もありますが、完成品を財団からお送りすることもできます。

お買いものに使う注文書、各種教室や友愛援助の申込書などもここにあります。

毎月発行している「新聞」

毎月10日を目安にHP上で発行しているのが
「ペルマーク新聞」です。

直前の約1カ月間にHPに掲載した様々な話題やお知らせなどを、コンパクトにまとめて編集したもので、2018年4月からカラー写真を豊富に使ったデジタル版になりました。A3判の両面印刷がおすすめですがA4縮小判も可能です。ご自由にお使いください。

印刷せずに直接画面で読むことも可能ですが。スマートフォンでも、ブラウザで表示を拡大すればお読みいただけます。

前月の大台達成校、そして寄贈マークをいただいた方などの記録も掲載しています。



ベルマーク商品



Bellmark Shim bun
ベルマーク新聞 3月号

毛川も積もれば除雪機に



各地で記録的な大雪が降った今冬。岩上以上もあったからです。した、「彼が出来うでした」と大阪下先生。生は話してくれました。

水谷さんは「おまかせ」とも言ふが、それが力強さで、レベルペースを維持しています。5月の「アーバンガーデン」を見た見事な結果、ペーパーを手に取る際は、本当に驚いたのです。そこで、アーバンガーデンに相談した結果、すぐに「アーバンガーデン」を購入して、といふことは、確かに一度も購入を躊躇しませんでした。どうがとうそのまことに、1ヶ月で「アーバンガーデン」は販売終了しました。

昨年12月、奥州市にも大量の雪が降りました。「例年の数倍の量」とベルマーク上旬には校庭の積雪が1mに達しました。「もう開園」。ベルマークだけが頑り、上旬には校庭の積雪が1mに達しました。雪除後の道は平らで樹氷も崩れにくく、子どもたちが安全の施設委員会がします。2年生以上のクラスに置く回収箱は、あらかじめ会社委

生半のところだもなうまでスコッティで書か
きするような状況でした。
そこでペルマー君用で雪崩機を更
新することにしました。同校は費用700
万円ほどで、ペルマー君用で雪崩機を更
新することができました。

• 100 •

コロナ禍で「新しいスタイル」の試みも

④防災科研の令和2年度成果発表会
ペルマーライフと防災科学室を主催している独立研究開発法人防災科学技術研究機構(防災科研)の「令和2年度成果発表会」が、2月22日(木)に開催されました。今後30年以内に高確率で起ることされる南東トラフ地震をめぐらての「キルディスカッション」もあり、特別

午前会場セミナーは、10月12日、東京・千代田区のグランハイアット東京にて開催された。セミナーでは、コロナ禍を「新しいスタイル」として、ポスターによる講義と、各セミナー参加者が3人ずつで分成された、座談会形式による議論が組み合わさり、活発な意見交換が行われた。会場には、多くの来場者が座談会に参加するなど、会場は大いに賑わった。会場内には、各セミナーの担当者による、座談会用のスクリーンや、ラップトップ端末などを設置。また、来場者用の飲食スペースでは、軽食やドリンクが用意され、来場者たちが交流を行った。

3. 説明会に参加を

2020年度は中止となりましたが毎年5～6月、全国の会場でベルマーク運動に携わるみなさんを対象とした「ベルマーク運動説明会」を開いています。運動の仕組みや進め方、集め方の工夫や体験談



会場いっぱいの聴衆が、活動発表を聴きました



まずは学校の紹介から



寸劇も取り入れて発表

も交えて、分かりやすく、楽しく紹介します。協賛会社がブースを出す会場もあります。

日程は、ベルマーク財団のホームページなどで全会場のご案内をします。参加団体には、開催のひと月ほど前にお送りする参加申込書（往復はがき）で最寄りの会場と日程をご案内していますので、ご確認ください。



協賛会社のブース



工夫がいっぱい。ベルマークツールの紹介